



DM-101

リファレンス・マニュアル

目次

各部の名称とはたらき	3
トップ・パネル.....	3
リア・パネル	6
外部ペダルの接続について.....	7
電源を入れる／切る	8
モード一覧.....	9
メモリーの保存／切り替え	12
各種設定	13
エクスプレッション・ペダルの機能を設定する	13
フットスイッチの機能を設定する（CTL 1 FUNCTION、CTL 2 FUNCTION）	14
アウトプット・モードを切り替える.....	15
エフェクト・オフ時にエフェクト音を残す／残さない（CARRYOVER）	16
メモリーの最大値を設定する（MEMORY EXTENT）	17
MIDI の設定.....	18
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	22
ゴム足を取り付ける	23
主な仕様	24

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



操作子	機能
1 [MEMORY] ボタン MEMORY インジケーター	メモリー (MANUAL、1～4) の切り替えや保存をします。 選択中のメモリーを表示します。 MIDI を使ってメモリー5～127 が選ばれているときは、インジケーターがすべて消灯します。 * モードが MULTI-HEAD のときに [VARIATION] つまみを操作すると、MEMORY インジケーター1～4 で選んだヘッド・パターンを表示します。しばらくすると、通常のメモリー表示に戻ります。
2 [TAP DIVISION] ボタン	BPM に対する音符の長さで、ディレイ・タイムを設定します。 誤操作を防ぐ (パネル・ロック) [TAP DIVISION] ボタンを長押しすると、つまみとボタンの操作を有効 (アンロック) にするか/無効 (ロック) にするかを切り替えることができます。 ロック中に操作をすると、TAP DIVISION インジケーターが点滅します。

操作子	機能																																																																	
TAP DIVISION インジケーター	ペダルを踏む間隔を 4 分音符（100%）として、ディレイ・タイムを音符で表示します。 <table><tr><th colspan="5">TAP DIVISION インジケーター</th><th rowspan="2">説明</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th>TRI</th><th>DOT</th></tr><tr><td>✓</td><td></td><td></td><td></td><td>✓</td><td>付点 2 分音符（300%）</td></tr><tr><td>✓</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2 分音符（200%）</td></tr><tr><td></td><td>✓</td><td></td><td></td><td>✓</td><td>付点 4 分音符（150%）</td></tr><tr><td>✓</td><td></td><td></td><td>✓</td><td></td><td>3 連 2 分音符（133%）</td></tr><tr><td></td><td>✓</td><td></td><td></td><td></td><td>4 分音符（100%）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>✓</td><td></td><td>✓</td><td>付点 8 分音符（75%）</td></tr><tr><td></td><td>✓</td><td></td><td>✓</td><td></td><td>3 連 4 分音符（67%）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>✓</td><td></td><td></td><td>8 分音符（50%）</td></tr><tr><td></td><td></td><td>✓</td><td>✓</td><td></td><td>3 連 8 分音符（33%）</td></tr></table> * 一部のモードでは非対応です。詳しくは「モード一覧(P.9)」をご覧ください。	TAP DIVISION インジケーター					説明				TRI	DOT	✓				✓	付点 2 分音符（300%）	✓					2 分音符（200%）		✓			✓	付点 4 分音符（150%）	✓			✓		3 連 2 分音符（133%）		✓				4 分音符（100%）			✓		✓	付点 8 分音符（75%）		✓		✓		3 連 4 分音符（67%）			✓			8 分音符（50%）			✓	✓		3 連 8 分音符（33%）
TAP DIVISION インジケーター					説明																																																													
			TRI	DOT																																																														
✓				✓	付点 2 分音符（300%）																																																													
✓					2 分音符（200%）																																																													
	✓			✓	付点 4 分音符（150%）																																																													
✓			✓		3 連 2 分音符（133%）																																																													
	✓				4 分音符（100%）																																																													
		✓		✓	付点 8 分音符（75%）																																																													
	✓		✓		3 連 4 分音符（67%）																																																													
		✓			8 分音符（50%）																																																													
		✓	✓		3 連 8 分音符（33%）																																																													
3	【MOD RATE】つまみ	ディレイ音を揺らす速さを調節します。																																																																
4	【MOD DEPTH】つまみ	ディレイ音を揺らす深さを調節します。																																																																
5	【VARIATION】つまみ	ディレイ音の音色を調節します。 モードにより、効果が異なります。詳しくは「 モード一覧(P.9) 」をご覧ください。																																																																
6	モードつまみ	ディレイのモード（種類）を選びます。 モード一覧(P.9)																																																																
7	【DELAY TIME】つまみ	ディレイ・タイムを調節します。 右に回すほどディレイ・タイムが長くなります。																																																																
8	【INTENSITY】つまみ	ディレイ音の繰り返し回数を調節します。 右に回すと、繰り返し回数が多くなります。左いっぱいに戻すと、シングル・ディレイになります。 * 右に回し過ぎると、発振することがあります。																																																																
9	【DELAY VOLUME】つまみ	ディレイ音の音量を調節します。 右に回すと、ディレイ音が大きくなります。左に回しきると、ダイレクト音のみになります。																																																																
10	【ON/OFF】スイッチ	ディレイをオン／オフします。																																																																
11	【MEMORY】スイッチ	メモリーを切り替えます。																																																																
12	【TAP】スイッチ	演奏曲のテンポに合わせてスイッチを押すと、演奏曲とタイミングの合ったディレイ・タイムを設定することができます。																																																																

操作子	機能
	テンポが最小ディレイ・タイム以下の場合、テンポの 1/2、1/4 でディレイ・タイムが設定されます。 テンポが最大ディレイ・タイム以上の場合、テンポの 2 倍、4 倍でディレイ・タイムが設定されます。 * 一部のモードでは非対応です。詳しくは「モード一覧(P.9)」をご覧ください。

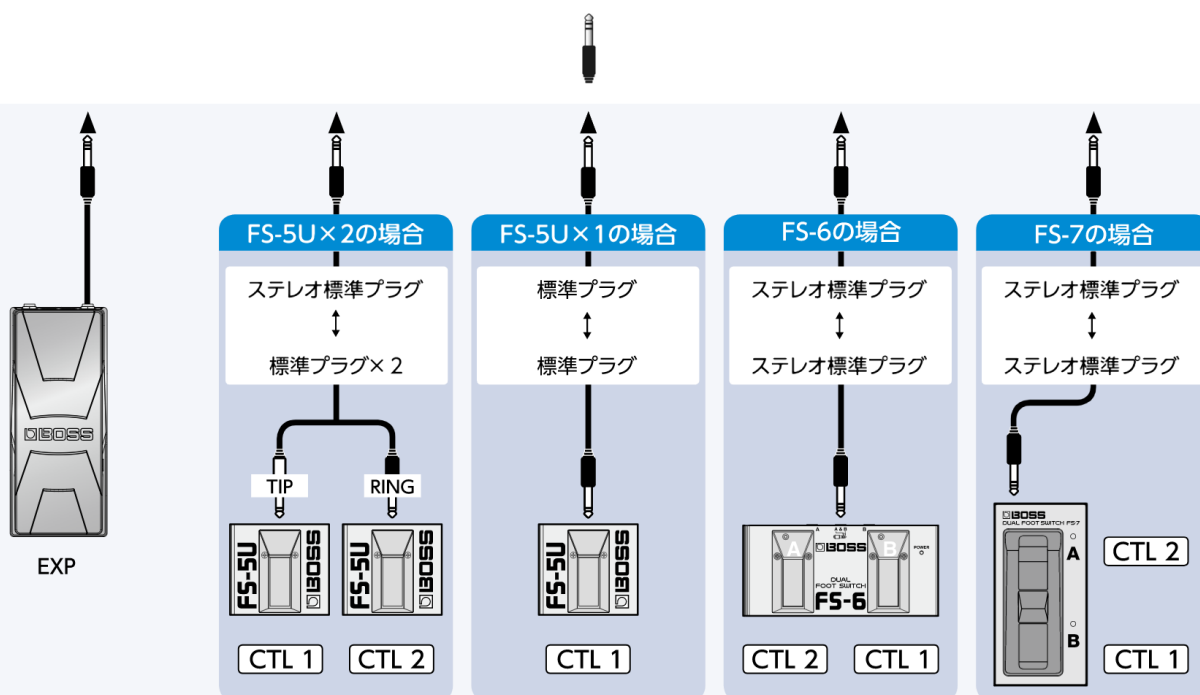
リア・パネル



端子	機能
13 INPUT 端子	エレキ・ギターやキーボード、その他の楽器やエフェクターを接続する入力端子です。
14 OUTPUT A/MONO、B 端子	ギター・アンプやキーボード・アンプ、その他のエフェクター、ミキサーに接続する端子です。 モノ出力のときは A /MONO 端子に接続してください。
15 CTL1, 2/EXP 端子	● CTL 1,2 端子として使う フットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続して、ディレイのオン／オフや MEMORY UP/DOWN などができます。 ● EXP 端子として使う エクスプレッション・ペダル（別売：EV-30、Roland EV-5 など）を接続して、エクスプレッション・ペダルのつま先側とかかと側のエフェクト設定を連続的に変化させることができます。
16 MIDI IN/OUT 端子	TRS/MIDI コネクティング・ケーブル（別売：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BCC-1-3535）で、外部 MIDI 機器に接続します。 外部 MIDI 機器を使って、本機のメモリーを最大 128 まで切り替えることができます。 * オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。
17 USB 端子	USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルで、パソコンに接続します。 * 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。 * プログラム・アップデート専用です。
18 DC IN 端子	AC アダプターを接続する端子です。 AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。 DC IN 端子に付属の AC アダプターを接続すると、電源がオンになります。 電源を入れる／切る (P.8)
19 接地端子	外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

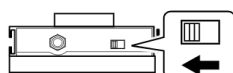
* 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

外部ペダルの接続について

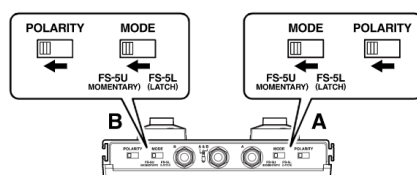


モード／ポラリティー・スイッチ

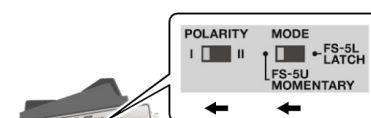
FS-5U



FS-6



FS-7



電源を入れる／切る

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

- * 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

アンプなどの電源を最初に切ってください。

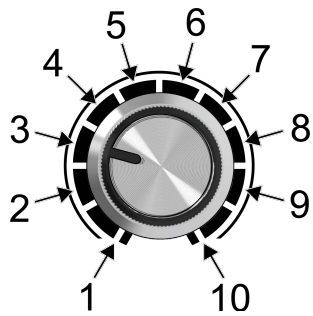
モード一覧

モード	説明	ディレイ・タイム	[TAP] スイッチ MIDI SYNC 対応	[VARIATION] つまみの機能
CLASSIC MONO	アナログ・ディレイ 特有の暖かみのある サウンドです。	40～1,200ms	○	モジュレーションの波形を調節 します。 MIN で三角波、中央で正弦波、 MAX に近づくにしたがってより 複雑な波形になります。
VINTAGE MONO	BOSS DM-2 のサウ ンドをシミュレート しています。	10～300ms	○	
MODERN MONO	高域が伸びた、クリ アなディレイ・サウ ンドが得られます。	40～840ms	○	
MULTI-HEAD MONO	テープ・エコーのよ うな効果が得られま す。	20～300ms	○	ヘッド・パターン（再生ヘッド の組み合わせ）を選びます（10 種類）。（*1、*2） つまみを操作すると、MEMORY インジケータ1～4 で選んだヘ ッド・パターンを表示します。 しばらくすると、通常のメモリ ー表示に戻ります。
NON-LINEAR MONO	リバーブ的な効果が 得られるディレイで す。	35～190ms	×	各ディレイの間隔を調節しま す。
AMBIENCE MONO	非常に狭い空間をシ ミュレートした音色 です。	VARIATION（初期 反射音）MIN： 140～160ms VARIATION（初期 反射音）MAX： 290～400ms	×	初期反射音を付加します。
REFLECT STEREO	リバーブのような効 果が得られます。	90～320ms	×	プリ・ディレイ効果（40～ 290ms）が得られます。
DOUBLING+ DELAY STEREO	音に厚みを加えるダ ブリング用ショー ト・ディレイと反射 音の効果が得られま す。	10～310ms	○	ダブリングのディレイ・タイム （10～20ms）を調節します。

WIDE STEREO	OUTPUT A/B それぞれのディレイ・タイムをずらし、広がりのあるサウンドを作り出します。	25～590ms	○	OUTPUT A/B のディレイ・タイムの差を調節します。
DUAL MOD STEREO	OUTPUT A/B で異なる位相のモジュレーション効果が得られます。	110～600ms	○	OUTPUT A/B のモジュレーション位相差を調節します。MAX で OUTPUT A/B が逆相になります。
PAN STEREO	ディレイ音を OUTPUT A/B に振り分けたステレオ・タップ・ディレイです。	20～450ms	○	OUTPUT A/B のディレイ・タイムの差を調節します。
PATTERN STEREO	リズムカルなディレイ効果が得られます。	VARIATION (パターン) 1 : 50～300ms VARIATION (パターン) 2 : 60～300ms VARIATION (パターン) 3 : 60～300ms VARIATION (パターン) 4 : 40～190ms VARIATION (パターン) 5 : 30～190ms VARIATION (パターン) 6 : 50～300ms VARIATION (パターン) 7 : 60～290ms VARIATION (パターン) 8 : 20～80ms	○	ディレイのパターンを選びます (10 種類)。(※1)

VARIATION
(パターン) 9 :
60~300ms
VARIATION
(パターン) 10 :
60~300ms

(*1) つまみの位置で、パターン 1 ~ 10 を切り替えることができます。



(*2) ヘッド・パターン 1 ~ 10 の内容は、以下のとおりです。

	ヘッド・パターン									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
再生ヘッド 1	●	●	●			●	●	●		●
再生ヘッド 2	●			●		●	●		●	●
再生ヘッド 3		●		●	●	●		●	●	●
再生ヘッド 4			●		●		●	●	●	●

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する

エディットした設定を保存することができます。

1. **[MEMORY]** ボタンを長押しします。

現在選ばれているメモリー番号のインジケーターが点滅し、書き込み待機状態になります。

2. **[MEMORY]** ボタンから手を離します。

3. **[MEMORY]** ボタンを押して、保存先のメモリーを選びます。

ボタンを押すたびに、MANUAL→1→2→3→4 と切り替わります。

メモ

外部 MIDI 機器を使って、メモリー5～127 を選ぶことができます。5～127 を選ぶと、MEMORY 1～4 インジケーターがすべて点滅します。

4. もう一度 **[MEMORY]** ボタンを長押しして、保存を実行します。

メモリー番号のインジケーターが高速点滅し、点灯に変わると、書き込み終了です。

外部 MIDI 機器を使ってメモリー5～127 を選んでいるときは、MEMORY 1～4 インジケーターがすべて高速点滅したあと、消灯します。

- * 手順3の前に各つまみやフットスイッチを操作すると、書き込みが中止されます。
- * MANUAL に保存した場合、エクスプレッション・ペダルの設定のみが保存されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. **[MEMORY]** ボタン、または **[MEMORY]** スイッチを押してメモリーを選びます。

ボタン／スイッチを押すたびに MANUAL→1→2→3→4 と切り替わります。

メモ

外部 MIDI 機器を使って、メモリー5～127 を MIDI で選ぶことができます。5～127 を選ぶと、MEMORY 1～4 インジケーターがすべて消灯します。

MANUAL（マニュアル）とは？

通常はメモリーに保存された設定に従ってエフェクトがかかりますが、MANUAL を選ぶと、パネル上のつまみの位置でエフェクトがかかります。このときエクスプレッション・ペダルの設定は、MANUAL に保存した設定（変更可能）が呼び出されます。

各種設定

エクスプレッション・ペダルの機能を設定する

CTL 1, 2/EXP 端子にエクスプレッション・ペダル（別売：EV-30 など）を接続すると、モードつまみを除くトップ・パネルのつまみを操作することができます。

エクスプレッション・ペダルのつま先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの音色と、かかと側を踏み込んだ最小値（MIN）のときの音色を設定して、連続的に変化させることができます。

エクスプレッション・ペダルの機能設定は、MANUAL と MEMORY 1～4 それぞれに設定することができます。

また、一度機能を設定したあとで別の機能を設定して追加していくことができるので、同時に複数のつまみを操作する設定を作ることもできます。

1. [MEMORY] ボタンで、エクスプレッション・ペダルの設定をする MEMORY（MANUAL、MEMORY 1～4）を選びます。

2. [TAP] スイッチを押しながら [TAP DIVISION] ボタンを押します。

TRI インジケーターが点滅します。

3. 各つまみで、かかと側を踏み込んだ最小値（MIN）のときの音色を設定します。

4. もう一度 [TAP DIVISION] ボタンを押します。

DOT インジケーターが点滅します。

5. 各つまみで、つま先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの音色を設定します。

6. もう一度 [TAP DIVISION] ボタンを押して、機能設定を終了します。

メモ

エクスプレッション・ペダルの機能設定をクリアするときは、上記操作の 3 と 5 でつまみに一切触らず、1～6 まで操作します。

注意

- エクスプレッション・ペダルの機能設定を保存するには、メモリーの保存操作が必要です。
- エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

フットスイッチの機能を設定する (CTL 1 FUNCTION、CTL 2 FUNCTION)

CTL 1, 2/EXP 端子に接続したフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）機能を設定します。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. モードつまみで、CTL 1 の機能を設定するときは CLASSIC を、CTL 2 の機能を設定するときは VINTAGE を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで、設定する機能を選びます。

MEMORY インジケーター	機能
MANUAL	次のメモリーを選びます。
1	1 つ前のメモリーを選びます。
2	エフェクトのオン／オフを切り替えます。
3	演奏曲のテンポに合わせてフットスイッチを押して、演奏曲とタイミングの合った ディレイ・タイムを設定します。

4. [TAP] スイッチを押して、機能設定を終了します。

アウトプット・モードを切り替える

アウトプット・モードを切り替えて、出力のしかたを変えることができます。

ミキサーの SEND / RETURN に接続するときなど、エフェクト音のみを出力したいときは、ダイレクト音の出力をオフにすることができます。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. モードつまみで、MODERN を選びます。
3. [MEMORY] ボタンでアウトプット・モードを選びます。

MEMORY インジケーター	アウトプット・ モード	機能
MANUAL	NORMAL	OUTPUT A/B 端子にプラグが差し込まれているとき： OUTPUT A 端子からはエフェクト音（L ch）+ダイレクト音、OUTPUT B 端子からはエフェクト音（R ch）+ダイレクト音を出力します。 OUTPUT A 端子のみにプラグが差し込まれているとき： エフェクト音+ダイレクト音を出力します。
1	DIRECT/EFFECT	OUTPUT A/B 端子にプラグが差し込まれているとき： OUTPUT A 端子からはエフェクト音（L ch+R ch）、OUTPUT B 端子からはダイレクト音を出力します。 OUTPUT A 端子のみにプラグが差し込まれているとき： OUTPUT A 端子からはエフェクト音（L ch+R ch）を出力します。
2	DIRECT MUTE	ダイレクト音の出力をオフにします。 OUTPUT A/B 端子にプラグが差し込まれているとき： OUTPUT A 端子からはエフェクト音（L ch）、OUTPUT B 端子からはエフェクト音（R ch）を出力します。 OUTPUT A 端子のみにプラグが差し込まれているとき： OUTPUT A 端子からはエフェクト音（L ch+R ch）を出力します。

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

エフェクト・オフ時にエフェクト音を残す／残さない (CARRYOVER)

エフェクトをオフにしたとき、エフェクト音を残すか残さないか設定します。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. モードつまみで、MULTI-HEAD を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで設定を選びます。

MEMORY インジケーター	機能
MANUAL	エフェクト音を残す
1	エフェクト音を残さない

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

注意

- エフェクト・オン／オフ時のみ対応します。メモリー切り替え時には対応しません。
- エフェクト音を残す設定の場合、エフェクト音が自己発振している状態からエフェクトをオフにしても自己発振音は出力し続けます。自己発振音を止めるときは、[INTENSITY] つまみを最小にします。

メモリの最大値を設定する (MEMORY EXTENT)

選択可能なメモリの最大値を設定します。

1. [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. モードつまみで、NON-LINEAR を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで最大値を設定します。

MEMORY インジケーター	最大値
1	1
2	2
3	3
4	4

4. [TAP] スイッチを押して、設定を終了します。

MIDI の設定

1. [ON/OFF] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. モードつまみで設定項目を選びます。
3. [MEMORY] ボタンで設定を選びます。
4. [ON/OFF] スイッチを押して、設定を終了します。

設定項目	モードつまみ	設定値	点灯 インジケーター	説明
受信チャンネル (RX CH)	CLASSIC	OFF	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	オフ
		1	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	CH.1
		2	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	CH.2
		3	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	CH.3
		4	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	CH.4
		5	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	CH.5
		6	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	CH.6
		7	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	CH.7
		8	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	CH.8
		9	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	CH.9
		10	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	CH.10
		11	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	CH.11
		12	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	CH.12

		13	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	CH.13
		14	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	CH.14
		15	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : TRI	CH.15
		16	MEMORY : 1 TAP DIVISION : TRI	CH.16
送信チャンネル (TX CH)	VINTAGE	OFF	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	オフ
		1	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	CH.1
		2	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	CH.2
		3	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	CH.3
		4	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	CH.4
		5	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	CH.5
		6	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	CH.6
		7	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	CH.7
		8	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	CH.8
		9	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	CH.9
		10	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	CH.10
		11	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	CH.11
		12	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	CH.12
		13	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	CH.13

		14	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	CH.14
		15	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : TRI	CH.15
		16	MEMORY : 1 TAP DIVISION : TRI	CH.16
		RX	MEMORY : 2 TAP DIVISION : TRI	RX CHANNEL と同じチャンネルで送信します。
プログラム・チェンジ 受信 (PC IN)	MODERN	ON	MEMORY : MANUAL	プログラム・チェンジを受信します。
		OFF	MEMORY : 1	プログラム・チェンジを受信しません。
プログラム・チェンジ 送信 (PC OUT)	MULTI-HEAD	ON	MEMORY : MANUAL	プログラム・チェンジを送信します。
		OFF	MEMORY : 1	プログラム・チェンジを送信しません。
コントロール・チェンジ 受信 (CC IN)	NON-LINEAR	ON	MEMORY : MANUAL	コントロール・チェンジを受信します。
		OFF	MEMORY : 1	コントロール・チェンジを受信しません。
コントロール・チェンジ 送信 (CC OUT)	AMBIENCE	ON	MEMORY : MANUAL	コントロール・チェンジを送信します。
		OFF	MEMORY : 1	コントロール・チェンジを送信しません。
MIDI クロック同期 受信 (SYNC)	REFLECT	INTERNAL	MEMORY : MANUAL	DM-101 内部のクロックに同期します。
		AUTO	MEMORY : 1	MIDI で受けた MIDI クロックに同期します。 クロックが受信できないときは、自動的に DM-101 内部クロックに同期します。
REALTIME SOURCE 送信	DOUBLING+DELAY	INTERNAL	MEMORY : MANUAL	内蔵リアルタイム・メッセージをソースにします。
		MIDI	MEMORY : 1	MIDI IN 端子からのリアルタイム・メッセージをソースにします。
MIDI THRU	WIDE	ON	MEMORY : MANUAL	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、その
		OFF	MEMORY : 1	

				まま MIDI OUT 端子から送信するか (ON) 送信しないか (OFF) を設定します。
DEVICE ID	DUAL MOD	17	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	エクスクルーシブ情報の送受信に使うデバイス ID を設定します。
		18	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	
		19	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	
		20	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	
		21	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	
		22	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	
		23	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	
		24	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	
		25	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	
		26	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	
		27	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : 	
		28	MEMORY : 1 TAP DIVISION : 	
		29	MEMORY : 2 TAP DIVISION : 	
		30	MEMORY : 3 TAP DIVISION : 	
		31	MEMORY : 4 TAP DIVISION : 	
		32	MEMORY : MANUAL TAP DIVISION : TRI	

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

1. [ON/OFF] スイッチと [TAP] スイッチを押しながら電源をオンにします。
2. [TAP] スイッチを押します。

リセットが開始されます。MEMORY インジケータが MANUAL→1→2→3→4 の順に点灯します。[ON/OFF] スイッチが点灯したら終了です。

3. 電源を切ります。

注意

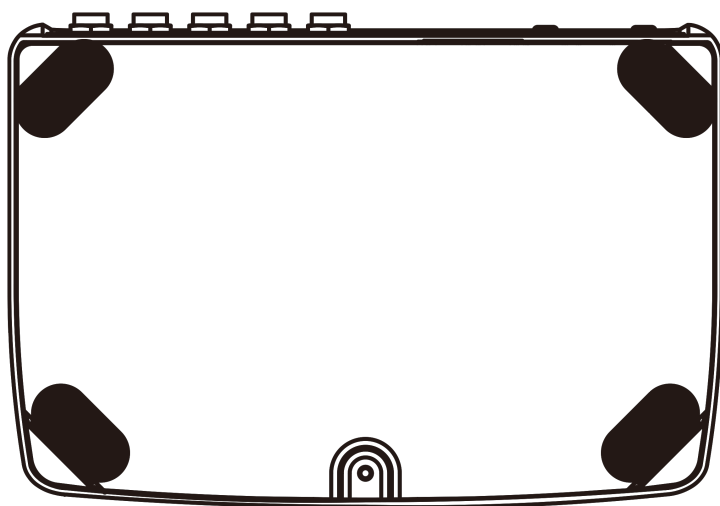
ファクトリー・リセット実行中は電源を切らないでください。

ゴム足を取り付ける

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

- * 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- * ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

メモリー	127+マニュアル
規定入力レベル	INPUT：-10dBu
入力インピーダンス	INPUT：1MΩ
規定出力レベル	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B：-10dBu
出力インピーダンス	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B：1kΩ
推奨負荷 インピーダンス	OUTPUT A/MONO、OUTPUT B：10kΩ 以上
ディレイ・モード	CLASSIC VINTAGE MODERN MULTI-HEAD NON-LINEAR AMBIENCE REFLECT [STEREO] DOUBLING+DELAY [STEREO] WIDE [STEREO] DUAL MOD [STEREO] PAN [STEREO] PATTERN [STEREO]
バイパス	バッファード・バイパス
コントロール	[ON/OFF] スイッチ、[MEMORY] スイッチ、[TAP] スイッチ [MOD RATE] つまみ、[MOD DEPTH] つまみ、[VARIATION] つまみ、 モードつまみ、[DELAY TIME] つまみ、[INTENSITY] つまみ、 [DELAY VOLUME] つまみ [MEMORY] ボタン、[TAP DIVISION] ボタン
接続端子	INPUT、OUTPUT A/MONO、OUTPUT B：標準タイプ CTL 1, 2/EXP 端子：TRS 標準タイプ MIDI (IN、OUT) 端子：ステレオ・ミニ・タイプ DC IN 端子 USB 端子：USB マイクロ B タイプ (プログラム・アップデートのみ)
電源	AC アダプター
消費電流	260mA
外形寸法	192 (幅) × 133 (奥行) × 52 (高さ) mm (ゴム足を除く) 192 (幅) × 133 (奥行) × 53 (高さ) mm (ゴム足を含む)
質量	830g
付属品	AC アダプター スタートアップ・ガイド

	チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口） ゴム足×4 保証書
別売品	フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、BCC-1-3535、BCC-2-3535

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

DM-101

リファレンス・マニュアル

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1

©2023 Roland Corporation